

第1分科会のまとめ

平成23年2月10日（木）

第1分科会は、分科会のテーマを「地域の活性化について」に決め、2年にわたり分科会を行ってきました。テーマの幅が広がったため、初めは日ごろの思っていること、感じていることをとっかかりに協議が始まりました。

文化財や三島の歴史、スポーツ行事や地域行事、公民館とコミセンのあり方、農業や林業里山、中山間地域の現状、福祉、子育て、防災などの生活関連など、さまざまな分野と角度から意見交換や研修を行ってきました。

その中から子育てと福祉、林業、農業との3つに絞り、次のようにまとめました。

● 子育てと福祉 ～子育てと福祉を大切にしまちづくり～

三島地域には恵まれた自然環境や子育てのしやすい関連施設等が多く在り、住民が活用しやすい環境にある。しかし、日吉地区の児童館のさらなる整備が急務である。

福祉というと老人福祉を中心に考えられがちだが、多世代から参加しやすい福祉環境を整え、地域全体で連携し、活気ある地域力を構築し、良好な住環境などについて地域外にPRしていきたい。

● 林業 ～里山の間伐材を利用した自然サイクル事業の活用～

三島地域は住宅の近くに里山がある地域が多く在る。豊かな里山や林業地の活性化は極めて重要である。間伐材や川の障害樹木、伐採林等を資源とする薪ストーブ、陶芸、木炭などに再利用、再活用する自然リサイクル事業を推進する。また、体験を通して次代を担う若い世代に自然の大切さも優しさ、時には厳しさを実感してもらう。

● 農業 ～地産地消を中心とした安全安心の農業～

三島地域は白鳥や朱鷺が飛来してくる耕田地が多く在る。この環境を活かし地域の消費者とコミュニケーションを図りながら、地産地消の観点から農作物の直営販売所の充実や店舗数の増加などの他に、新しい発想で仕組みづくりを再構築していく必要がある。

これからの農業として体験型複合農業を通じて地産地消の良さを積極的に推進する。

例としては、川口地域のあぐりの里

群馬県川場村（世田谷区との交流事業）

福井県越前市 等